

令和2年2月秋田市議会定例会代表質問者順序

秋 水 会 渡 辺 正 宏

市 民 ク ラ ブ 花 田 清 美

フロンティア秋田 倉 田 芳 浩

公 明 党 武 田 正 子

共 産 党 鈴 木 知

そ う せ い 齊 藤 勝



1 組織・人事について

- (1) 現在、危機管理監が危機管理面の職務を遂行していることから、指揮命令系統を明確にするためにも、危機管理を部門として位置づけ、組織・機構図にも反映させるべきと考えるがどうか
- (2) 再任用職員が有している知識は貴重であり、活用すべきであることから、専門職として活躍できるよう新規ポストを設けるなど、取り組む考えはないか
- (3) 企画調整課の分掌事務を見直すか、または、政策立案に特化した部門を新設すべきと考えるがどうか

2 小中学校の学習環境の整備について

- (1) 小中学校における今後のICT教育をどのように推進していくのか、また、厳しい財政状況の中、小中学校のICT環境の整備やエアコン設置を含めた施設の老朽化対策など、財政負担を伴う施策をどう進めていくのか、さらに、財源の確保をどう考えているのか

3 公共施設の利用料金について

- (1) 施設によって、さまざま異なる料金体系としている背景には、どのような理由づけがあるのか、また、施設利用における市外の高校生以下への無料措置は、見直すべきと考えるがどうか

4 中心市街地のまちづくりについて

- (1) 第2期秋田市中心市街地活性化基本計画に基づく中心市街地のランドデザインをどう描いているのか

5 公共施設等のマネジメントについて

- (1) 個別施設ごとの長寿命化計画は、各部局ごとに策定しているが、総量の縮減という観点を含めて公共建築物のマネジメントを進めるとし

た場合、一つの部門で一元管理した方が実効性があると思うがどうか、また、総量における新設の施設と既存施設とのバランスを、今後どのようにとっていくのか

## 6 内部統制について

- (1) 今後、内部統制をどのように進めていくのか、また、内部統制に関する認識が徹底されていないという課題は、解消されたのか
- (2) 監査委員として、本市の内部統制をどのような視点でとらえ、どう監査に臨むのか

## 7 財源の確保について

- (1) 本市の資金運用について、運用益の確保という明確な考え方を持っているのか、また、これからの厳しい財政状況を見通した場合、金融機関などで資金運用に携わった経験のある人材を登用し、目標額を設定するなど、資金運用を事業としてとらえるべきではないか

## 8 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 本市で感染者が出た場合の対応策は万全なのか、また、医療機関の受け入れ体制や拡散防止策は整っているのか

## 1 市長の政治姿勢について

- (1) 市長は、新屋演習場へのイーグリス・アショアの配備について、地元の理解は得られないと河野防衛大臣に申し入れをしているが、本市のリーダーとして自身の主義・主張に基づき、配備について判断すべきではないか

## 2 行財政改革について

## (1) 行政サービスについて

ア 休日窓口の開設など、市民が手続を行うための機会をふやす取り組みが必要と考えるがどうか

イ 死亡に伴う手続の簡素化について取り組むべきではないか

## (2) 財政の見通しについて

ア 未利用施設の利活用の促進及び不用施設の整理・解体などによる歳入確保に向けた施策を、今後どのように行っていくのか

イ 新規財源の確保に向けてどのような取り組みを行っているのか

ウ 公共交通の活性化を図るために設置された公共交通活性化基金の目標積立額10億円及び公共施設の整備、改修に資するための公共施設等整備基金の目標積立額14億円など、第7次秋田市行政改革大綱に掲げた特定目的基金の積み立てについて、令和4年度までの達成は可能なのか

## (3) 内部統制の取り組みについて

ア コンプライアンスを前提とした危機管理体制の構築に向け、本市では平成23年度から内部統制についてどのように取り組んできたのか

イ 平成29年の地方自治法の改正を受けて取り組む内部統制は、本市のこれまでの取り組みとどのような点が変更となるのか

ウ 本市では、内部統制の体制を今後どのように整備していくのか、また、どのような効果を見込んでいるのか

### 3 中心市街地の活性化について

- (1) 中心市街地から郊外の店舗に消費購買力が流出していることから、中心市街地の活性化を図るためにも、郊外において過度な大型複合商業施設の進出等を抑制すべきと考えるがどうか
- (2) 中心市街地における利便性の向上を図るため、秋田市公営駐車場の料金を見直す考えはないか
- (3) 秋田駅前北第一地区市街地再開発事業は、建築未着手の状態が長期間続いていることから、土地の有効活用を図るため、事業計画の見直しが必要と考えるがどうか
- (4) 平成12年度から秋田駅西口大屋根下防風雪柵に多額の経費を支出していることから、今後の設置を見直すべきではないか

### 4 交通政策について

- (1) 秋田市しあわせづくり市民意識調査において、バス、電車などの利用しやすさの評価が前回と比べて悪化しているが、その原因をどのように分析しているのか
- (2) 本市では、公共交通空白地域への対応として、地域が主体となる生活交通の導入を検討し、地域みずから生活交通の運行を目指す団体を募集していたが、本市が導入を想定していた地域からの申し込みはあったのか
- (3) 生活交通を維持するためには、当該地域においても費用負担が必要となるが、その負担が困難となり生活交通が維持できなくなった場合には、本市はどのように対応するのか
- (4) 公共交通の維持・確保に向けたこれまでの施策の成果及び課題に対する認識はどうか、また、次期公共交通政策ビジョンにどのように反映するのか

### 5 水害対策について

- (1) 国が進める雄和地域の雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業におい

て、本市はどのようにかかわっているのか、また、同地域の家屋浸水被害を解消するため、工期内に工事が完了するよう国に強く働きかけるべきと考えるがどうか

(2) 古川流域の総合的な治水対策協議会の中で示されている治水対策は、令和7年度の完了予定となっているが、同河川の早急な整備を望む声が高いことから、前倒しで整備が完了するよう取り組みを進めるべきと考えるがどうか

(3) 豪雨による浸水被害の大きい仁井田潟中町周辺の浸水対策を早急に実施すべきと考えるがどうか

## 6 全天候型複合施設の整備について

(1) 秋田市立体育館など本市の屋内施設は、施設利用者の需要を充足していると考えているのか

(2) 近年、冬期間において、グラウンドゴルフ及びミニテニスなど生涯スポーツをするための施設不足が指摘されているほか、屋内での大規模イベント会場の整備を求める声も高いことから、全天候型複合施設の整備を早急に行うべきと考えるがどうか

## 7 ジャイアントパンダの誘致等について

(1) 大森山動物園の経営状況をどのように認識しているのか、また、同園を維持していくための経営上の課題と今後の対応についてどのように考えているのか

(2) ジャイアントパンダの誘致活動を今後どのように行っていくのか

## 8 秋田市卸売市場の再整備について

(1) 市場内事業者の多くは、再整備後の管理運営費等の負担が増加するのではないかと懸念しているが、本市ではどのように考えているのか

(2) 同市場の敷地は約14万平方メートルとされているが、再整備後の土地の利活用についてどのように考えているのか

## 9 医療及び福祉について

### (1) 子供に対するインフルエンザワクチン接種費用の助成について

ア 本市を除くすべての秋田県内の市町村で接種費用の助成を行っているほか、関係団体からも接種費用の助成を望む声が高いことから、本市でも乳幼児及び児童への助成を行うべきと考えるがどうか

### (2) 乳幼児及び小中学生の福祉医療制度について

ア 子育て世帯の負担軽減を図るため、同制度における所得制限を緩和すべきと思うがどうか

### (3) 災害時における医療用医薬品等の供給について

ア 災害時には医療用医薬品等の不足が想定されることから、速やかな供給ができるよう関係団体との緊急連絡体制を強化すべきと考えるがどうか

## 10 国民健康保険事業について

### (1) ジェネリック医薬品の啓発等について

ア 被保険者に同医薬品の啓発及び普及推進を行うべきと考えるがどうか

### (2) 特定健康診査の受診率向上について

ア 受診率の向上を図るため、どのような対策を行うのか

## 11 地域包括ケアシステムについて

(1) 地域包括ケアシステムの柱の一つとなる在宅医療・介護連携推進事業のこれまでの取り組み状況及び課題は何か

(2) 地域においても高齢者を支えるさまざまな専門職のネットワークが重要であると考えているが、多職種が連携を進める上での課題をどのように認識しているのか

(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けた課題は何か、また、課題に対してどのように取り組んでいくのか

## 12 児童虐待について



(1) 本市に寄せられる児童虐待の相談内容にはどのようなものが多いのか、また、その後の調査については、関係機関とどのように連携しているのか

(2) 本市でも子ども家庭総合支援拠点を設置し、虐待発生時の対応や予防に当たっているが、これまでの成果及び課題についてどのように認識しているのか

13 新型コロナウイルス感染症への対策について

(1) 秋田港には毎年、ダイヤモンド・プリンセスを初めとするクルーズ船が寄港しているが、今後クルーズ船が寄港した際にどのような感染症対策を行うのか

(2) 今後本市においても感染者が発生するおそれがあることから、県と同様に本市でも対策本部を設置すべきと考えるがどうか



## 1 市長の政治姿勢について

- (1) 市長として11年、秋田市政のかじ取りをしてきたが、振り返るとどのような思いがあるのか、また、反省すべきところはあるのか

## 2 イービス・アショアについて

- (1) 市長は、イービス・アショアの陸上自衛隊新屋演習場への配備に反対なのか
- (2) 新屋演習場以外の秋田市内への配備に対する考えはどうか

## 3 保存樹について

- (1) 秋田市が所有する保存樹の管理体制はどのようになっているのか
- (2) 秋田市が所有する保存樹の過去5年間の指定、解除の状況はどうか、また、過去の解除の理由はどのようなものであったのか
- (3) 通称「油田の一本松」の管理はどのように行っていたのか、また、一本松は、なぜ現在のような状態になったのか、さらに、今後、どのように取り扱うのか
- (4) 一本松については、長い年月がかかるが、町内会等を交え「小さな若木」を植え、大事に育てていく方策を検討してはどうか

## 4 秋田市文化創造館（旧県立美術館）の改修工事について

- (1) 旧県立美術館改修工事において、工事の着工とは、どこからを指すのか
- (2) 変更契約により、追加になった工事と取りやめた工事があるが、事前に把握し検討等をすることはできなかつたのか、また、あわせて工期が延長になっているが、それぞれの変更理由は何か
- (3) 最低制限価格の算定率を上げる際、「既存建物の用途変更を伴う改修設計のため、制約が多く難度が高い業務」であるとしていたが、算定率を上げるに足る設計業務ではなかつたのではないか

- (4) 改修工事の設計で、秋田公立美術大学の教授をアドバイザーとして委嘱していたが、どのような意見が出されていたのか、また、それらは設計に反映されたのか
- (5) 設計業務委託の受託者は、他業者にその一部を再委託させているのか
- (6) 設計業務委託の成果品が納品されたのはいつか、また、成果品に問題はなかったのか、さらに、成果品の検査に問題はなかったのか
- (7) 旧県立美術館改修工事設計業務委託の検査の結果として、業務の完了を認めたのは間違っていたのではないか
- (8) 計画通知の申請はいつか、また、計画に問題はなかったのか、さらに、計画通知がおりたのはいつか
- (9) 建築基準法第18条第3項の規定による、確認済証の交付がおくれた原因は何か
- (10) 耐震補強の工法等の検討に時間がかかりすぎていると思うがどうか
- (11) 塔屋部の耐震補強の工法等の検討により、工期が延びたとしているが、どのように変更したのか
- (12) 耐震補強壁の施工において、既存の空調用ダクトが支障となることから設計変更をしたが、事前に支障があることはわからなかったのか
- (13) エレベーター増築工事について、設計変更により約90万円の増額になっているが、その理由は何か
- (14) 増額分を「当初契約の差額で賄う」とのことだが問題はないのか
- (15) 入札差金を活用する際のチェックは適切に行われたのか、また、入札差金の取り扱い方を見直すべきではないか

## 5 新スタジアム等について

- (1) フィールドは市民なども利用できるのか
- (2) 総工事費の資金調達はどのように行うのか
- (3) 株式会社ブラウブリッツ秋田の財務状況の検証は行っているのか
- (4) 卸売市場の再整備と関連することはあるのか
- (5) 周辺整備を含め市場外の開発もあり得るのか

(6) 市街化調整区域を市街化区域に変更する場合はどのように取り扱うのか

(7) 新スタジアムの維持管理はどのようにするのか

6 あきた芸術劇場中ホールへの音響反射板の設置について

(1) 音響反射板を設置しないと決めた理由は何か

(2) 実施設計概要版での「優れた環境を提供する」ことに反していないか、また、「演者の肉声や直接音が明瞭に伝わるホール」とあるが、どのような意匠がとられているのか

(3) 可動式の音響反射板について

ア 可動式の音響反射板の設置は検討しなかったのか

イ 可動式の音響反射板を設置した場合、舞台演劇に、どのような影響があるのか

(4) 固定の音響反射板について

ア 固定の音響反射板の設置は検討しなかったのか

イ 固定の音響反射板を設置した場合、舞台演劇にどのような影響があるのか

(5) 固定の音響反射板を設置するべきと考えるがどうか

7 秋田和洋女子高等学校の移転補償費の精算について

(1) 国土交通省東北地方整備局から秋田県、さらに秋田市への個人情報提供は「個人情報保護法違反」に該当すると思うがどうか

(2) 同校の移転補償において精算が生じる項目は何か

(3) 精算した金額は秋田市に返還されるべきものとするがどうか

(4) 今後、同校移転に関して、追加の補償・補てん・金品などを支払うことはあるのか

(5) 新校舎の建築工事に当たり、E C I方式の採用により、施工者からどのような技術協力が得られていたのか、また、同方式の採用により、結果として建設コストの縮減や工期短縮は図られたのか

(6) 実施設計では、基本設計から大きな変更点はあったのか

8 秋田市本庁舎の消防法違反問題について

- (1) 秋田市本庁舎において、防火管理について権原を有する者はだれか
- (2) 本庁舎の使用開始時において、防火管理者を選任していなかったのか
- (3) 「防火管理に係る消防計画」の作成はしていたのか
- (4) 同計画の提出がおくれた理由は何か
- (5) 民間に対してはどのような指導を行ってきたのか
- (6) 2017年度の届け出義務発生建物の多くが提出遅延していたが、今後どのように指導していくのか

9 日本製紙株式会社秋田工場と本市の協定について

- (1) 排煙や臭気の改善策として2号ボイラーを稼働するとしていたが、昨年10月から本年2月までの稼働日数はどうか
- (2) 3号ボイラーの排煙を浄化処理するための整備はどのようなものだったのか
- (3) 同協定で定められた数値は遵守されているのか
- (4) 臭気の発生原因は何か
- (5) 臭気の漏えい防止に対して、どのような対策を行ったのか
- (6) 木材チップの飛散が見受けられるが、その原因と対策はどうか
- (7) 山積みされた木材チップのにおいは防ぐことはできないのか

10 斎場使用料の見直しについて

- (1) 献体をされ、秋田大学で解剖を終えた秋田市民以外の方の斎場使用料を見直すことが必要と考えるがどうか

11 会計年度任用職員について

- (1) 年収が減るケースはあるのか、また、それはどのような場合と考えられるのか
- (2) 勤務時間が短縮されるケースはあるのか

- (3) 2018年度の秋田市の非正規職員の人数及び正規職員に対する割合はどうか
- (4) 臨時職員等が会計年度任用職員に移行した場合、年間賃金はどのように変わるのか、また、2020年度の期末手当の総額は幾らになると見込んでいるのか
- (5) 会計年度任用職員制度が指定管理者制度に与える影響は何か
- (6) 会計年度任用職員を任用しなければならない理由は何か

## 12 職員の勤務環境について

- (1) 職員のパワーハラスメントやセクシャルハラスメントの状況はどうか
- (2) パワーハラスメントやセクシャルハラスメントが起こる原因をどう分析しているのか
- (3) これまでのハラスメント防止の取り組みの効果をどう評価しているのか、また、今後、どのような防止策が有効だと考えているのか
- (4) 職員の懲戒処分等に関する要綱には、パワーハラスメント及びセクシャルハラスメントについて定められているのか
- (5) メンタルヘルス不調による休職者の職場復帰に当たり、人事課が策定した「メンタルヘルス職場復帰支援の手引き」に基づき、適切に対応しているのか





1 市長の政治姿勢について

(1) イージス・アショア配備計画について

ア 新屋演習場への配備について、市長の発言のニュアンスが変化しているが、市長自身の心境に何か変化があったのか

イ 河野防衛大臣は新屋演習場を視察すると発言しているが、その時期はいつごろと見込んでいるのか、また、視察時に市長は同行する考えはあるのか

(2) 移住定住の促進に向けた取り組みについて

ア 今年度、人口減少・移住定住対策課を新設したが、取り組みの成果及び課題は何か、また、課題の解決に向けた今後の取り組みはどうか

(3) 令和2年度当初予算案について

ア 令和2年度当初予算案の編成に当たり、令和元年度における事業の成果をどのように検証し、その結果をどのように反映させたのか

2 幼児教育・保育の無償化について

(1) 国では、育児休業期間中の一時預かりの利用料は無償化の対象外となっているが、条件を満たせば独自で無償としている他都市の事例もあることから、国の無償化の対象外の利用料等について、本市独自の条件を付し無償化または補助する考えはないか

(2) 無償化に伴い、各施設では事務負担が増加しているが、本市としてRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）、AI等を活用した各施設の事務負担を軽減できるような方策を検討する考えはないか

3 子育て支援アプリの導入について

(1) 子育て世代の育児の負担を軽減するため、妊娠中の健康記録や子供の成長記録を管理でき、予防接種のスケジュール管理、出産育児に関

する情報も気軽に収集できる母子手帳アプリを導入してはどうか

#### 4 児童虐待防止策について

- (1) 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」の通話料が令和元年12月3日から無料となったが、市民への周知はどのように行われているのか
- (2) 昨年、児童虐待防止対策の強化を図るための児童福祉法等の一部を改正する法律案が成立し、児童相談所の体制強化、関係機関間の連携強化等が図られることとなったが、本市として、関係機関との連携強化をどのように図っていくのか

#### 5 不登校の児童生徒への支援策について

- (1) 文部科学省から、令和元年10月25日付で不登校児童生徒への支援のあり方についての通知が発出されているが、この通知を受けて、本市の支援の方向性はこれまでと比較してどのように変わっていくのか、また、その趣旨を教職員に理解してもらうためにどのような研修を考えているのか
- (2) 民間施設、NPO等の取り組みと連携協力していくことが肝要であり、日ごろから積極的に情報交換を行う必要があると思うが、今後どのように取り組んでいくのか
- (3) さまざまな事情により登校して教育を受けることが困難な児童生徒に対し、学習機会を保障する観点からも、ICTを効果的に活用した取り組みを進めるべきと思うがどうか

#### 6 8050問題について

- (1) 自立支援の相談窓口にあウトリーチ支援員を配置し、同行相談、信頼関係の構築といった対本人型の支援を実施すべきと思うがどうか
- (2) 自立支援の充実を図るため、ボランティア活動など就労に限らない多様な社会参加の場の確保を目指した「引きこもりサポート事業」を実施してはどうか
- (3) 断らない相談支援、伴走型支援など、これまでの制度の枠を越えた

包括的な支援を行うことができる新たな仕組みを構築する考えはないか

7 介護支援ボランティア制度について

(1) これまでの取り組みの成果及び課題は何か、また、課題への対応策、さらに、ボランティア登録者数の増加に向けた取り組みについてどのように考えているのか

(2) 活動対象について、子育て活動分野を拡充することにより、子育て活動への参加を促すとともに、世代間交流も図られると思うがどうか

8 秋田市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例について

(1) 同条例に市の責務として規定している、共生する社会の実現に向けた必要な施策について、これまでどのような取り組みを行ったのか

(2) 同条例の理念について、市民への浸透に向けた取り組みをどのように行ったのか、また、市民への浸透度合いをどのようにとらえているのか

9 安全・安心なまちづくりについて

(1) 水害、土砂災害等の危険が迫った際の防災情報の伝達方法について、全国で多発している災害からの教訓を本市ではどのように生かしているのか、また、今後、その対策をどのように推進していくのか

(2) 災害に強いまちづくりの実現に向け、地域における防災教育の充実及び地域防災の担い手育成の現状はどうか、また、今後どのように取り組んでいくのか

(3) 大規模災害発生時の医療救護活動について、秋田市医師会等関係機関との連携体制はどのようになっているのか

10 プラごみゼロ宣言について

(1) ことし7月1日からプラスチック製買い物袋が有料となるが、近年の海洋プラスチックごみによる海洋生物の生態系への影響等も勘案し、

環境立市の確立に向けた取り組みの一つとして「プラごみゼロ宣言」  
を行い、市民、企業等にプラスチックごみの削減を促してはどうか

1 イービス・アショアについて

- (1) 令和2年1月31日に河野防衛大臣へ手渡した申し入れ書では、地元住民への丁寧な説明と理解を得ることを求めているが、市長として明確に、新屋演習場は適地ではないということを防衛大臣に伝えることはできたのか
- (2) 国は、現時点においても同演習場を配備候補地から除外していないことから、首長として反対の意思を明確に表明すべきではないか

2 行財政運営について

- (1) 市民サービスの公平性についてどのように考えているのか
- (2) 政策経費を削減する一方で成長戦略に傾注してきたが、成果についてどのようにとらえているのか、また、課題は何か
- (3) 普通会計の目的別歳出の構成比を見ると、類似都市と比較し民生費と教育費の割合が低い水準が続いているが、高齢者施策や福祉施設の充実が求められていることに加え、校舎の建てかえや教育に係る保護者負担の軽減を求める声が多いことから、配分を手厚くすべきではないか

3 まちづくりについて

- (1) コンパクトシティの成果が目に見えてこないことから、それぞれの地域で世代の循環が行われるよう、若い世代が住みやすくなる住宅政策を推進するなど、居住誘導を意識した取り組みをすべきではないか
- (2) 中心市街地、観光地及び商店街などにベンチを設置し回遊性を高めるなど、人に優しいまちづくりを進めるべきではないか
- (3) 公共交通について
  - ア 本市の公共交通において、行政が果たすべき役割をどのように認識しているのか
  - イ バス路線の効率化が行われているが、市民ニーズにこたえた新た

な公共交通をつくる必要があるのではないか

#### 4 教育について

##### (1) 学校適正配置について

ア 秋田市小・中学校適正配置基本方針には、保護者や地域の意向が反映されていないのではないか

イ 7つの地域ブロックに分けて協議するのであれば、全市一律の基準ではなく、保護者や地域が納得できる、地域の実情に応じた特色のある教育環境となるよう柔軟な対応をすべきではないか

ウ 将来を見据えた議論が行われているが、最終的な判断は、その時点の当事者の意見を反映すべきではないか

エ 結局のところ学校統廃合が目的となっていると思われるが、統廃合の必要がある学校の協議については、地域ブロック協議会とは別に進めるべきではないか

オ 統廃合により学区が広がった場合、スクールバスを運行するなど交通手段の確保に努めることとされているが、部活動などへの対応はできるのか、また、保護者負担をどのように考えているのか

##### (2) 小中学校における不登校の児童生徒への対応について

ア 不登校の児童生徒の状況について、市としてどのように分析し対応しているのか

イ 「すくうる・みらい」が開設されているが、その効果と課題は何か

ウ 民間のフリースクールと積極的に連携していくべきではないか

##### (3) 登下校時の安全・安心について

ア 「子ども110番の家」について、現在はどのような取り扱いになっているのか、また、不審者への対応を児童に徹底するとともに、万が一のときに一目で駆け込み先がわかるような手だてを講じるべきではないか

#### 5 要介護認定について

- (1) 平成23年2月に要介護認定に係る事件が報道されて以降、どのような改善が行われてきたのか
- (2) 要介護認定の申請から30日以内に認定されていない実態があるが、状況と対策はどうなっているのか
- (3) 今後も申請数の増加があり得ることから、認定調査員を増員すべきではないか

## 6 文化振興について

### (1) 指定文化財について

- ア 本市にある約300件の指定文化財について、状況の把握はできているのか、また、継承できず指定解除のおそれがあるものはないのか
- イ 伝統芸能や伝統技術など無形民俗文化財の保存は、地域との関係性が強いことから、地域の理解と協力を得ることが重要であるが、そのことに対して本市が果たす役割をどのように考えているのか
- ウ デジタル技術などを活用した指定文化財の記録を作成し、本市独自の魅力を打ち出していくとともに、後継者の育成や市民の文化財保護意識の醸成等に生かしてはどうか

### (2) 竿燈まつりについて

- ア 練習場所の確保が困難な場合もあるが、市として支援すべきではないか
- イ 練習風景の公開や市民ボランティアの活用などにより、市民参加の拡充や魅力の向上を図ってはどうか
- ウ 竿燈妙技会の会場については、あきた芸術劇場完成後に改めて検討すべきではないか、また、熱中症対策を講じるべきではないか





1 市長の政治姿勢について

(1) 3期目3年間の評価と公約の実現状況について、市長自身どのように総括しているのか、また、その総括を踏まえて、任期の最終年度はどのように市政運営に取り組んでいくのか

2 令和2年度当初予算及び今後の財政運営について

(1) 予算編成に当たり、財源の確保と歳出の抑制に向けて、どのように取り組んだのか

(2) 本市財政に対する現状認識はどうか、また、財政運営の健全性、安定性及び継続性を確保するため、どのように取り組んでいくのか

(3) 新規歳入の確保として、指定管理施設へのネーミングライツの導入を行うべきと思うがどうか

(4) 秋田市ポートタワー・秋田港振興センターは、数少ない民間会社による指定管理施設であるが、今年度実施した公募の際にネーミングライツの導入をどのように検討したのか、また、導入に至らなかった理由は何か

3 人口減少対策について

(1) これまでの人口減少対策の成果などから、本市の人口減少の実態をどのように分析し、どのような取り組みを行っていくのか、また、次期総合計画にどのように盛り込んでいくのか

(2) 市内の地区ごとの人口減少をどのように把握しているのか、また、地区内における一定のコミュニティーを維持するための対策が必要と思うがどうか

4 イージス・アショアの配備について

(1) 市長は、さまざまな場面で「市民の理解を得ることが難しい」「新屋は候補地から除外されるべき」といった表現を用いて発言している

が、どのような状況になれば、首長として態度を明確にするのか

- (2) 新屋演習場周辺の学校敷地売却の要望をしたとの知事の発言に対して、市長は「聞いていない」とした報道があったが、イージス・アショアへの対応について、県と歩調は合っているのか

## 5 新型コロナウイルス感染症への対応等について

- (1) 感染が疑われる症状が出た場合に、どのような行動をとるべきかなどについて、わかりやすい行動マニュアル等を策定して、市民に示すべきではないか
- (2) ことし4月24日に秋田港へ寄港予定であった大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港が中止となったことなど、同感染症が本市へもたらす影響についてどのように想定しているのか

## 6 ふるさと納税の積極的な活用について

- (1) ふるさと納税制度をより積極的に活用し、本市の工芸品等のPRにつなげていくべきと考えるが、本市の取り組みをどうとらえているのか、また、今後どのように取り組んでいくのか
- (2) 寄附金の使い道を明示した上で、事業に共感する方からふるさと納税を募るという手法もあることから、ふるさと納税制度の本市独自のさらなる活用方法を検討すべきと思うがどうか

## 7 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 泉外旭川駅が、令和3年3月末の供用開始を目指して工事が進められているが、今後、外旭川地区はさらなる発展が見込まれることから、同地区を新たな拠点（地域中心）に設定すべきと思うがどうか
- (2) 市長は、外旭川地区のまちづくりのあり方を検討すると表明したが、その具体的な位置や規模をどう考えているのか、また、その中にはイオンタウン株式会社が開発を計画しているエリアが含まれているのか
- (3) 第14次秋田市総合計画及び第7次秋田市総合都市計画の策定に当たり、令和2年6月市議会定例会において両計画における外旭川地区の

まちづくりの方向性を示す考えはないか

8 企業誘致について

- (1) 市長就任時から今日までの企業誘致の実績と本市経済への影響をどのように分析しているのか
- (2) 企業誘致の手法として、市の熱意を伝えるためにもトップセールスが重要と考えるが、その実績はどうか、また、誘致後の企業に対する市長訪問は実施されているのか

9 文化会館の今後の活用等について

- (1) あきた芸術劇場のオープンに合わせ、用途廃止となる文化会館の今後について、どのように考えているのか
- (2) 広く民間から活用アイデアを募集する考えはないのか
- (3) 文化会館の大ホール及び小ホールの利用状況から、あきた芸術劇場等でそれらをカバーできると考えているのか
- (4) 文化会館の存続を希望する市民の声にどのようにこたえていくのか